

愛媛県高血圧重症化予防プログラムの取組状況

愛媛県では、令和4年12月に愛媛県高血圧重症化予防プログラムを策定し、特定健診受診者のうち、ハイリスク者への取組状況調査を実施しています。

※調査にあたる協力 愛媛県国民健康保険団体連合会

【愛媛県全体】

令和6年度に特定健診を受診した国民健康保険加入者（64,335人）のうち、Ⅱ度及びⅢ度高血圧の者で医療機関を受診していない者に対する受診勧奨及びその後の受診

Ⅱ度及びⅢ度高血圧の該当者（5,021人）

A 受診勧奨対象者 (医療機関未受診者) 3,103人	B 医療機関受診勧奨実施者 2,766人	C 医療機関受診者 621人
	受診勧奨実施率 89.1% (B/A)	医療機関受診率 22.5% (C/B)

上記のうちⅢ度高血圧の該当者（849人）

A 受診勧奨対象者 (医療機関未受診者) 601人	B 医療機関受診勧奨実施者 542人	C 医療機関受診者 137人
	受診勧奨実施率 90.2% (B/A)	医療機関受診率 25.3% (C/B)

愛媛県全体では、対象者の約89%に受診勧奨が実施できており、そのうち約23%の方が医療機関の受診につながったという結果でした。

【愛媛県全体】 令和5年度から令和6年度の高血圧の改善率

集計対象者は令和5年度健診受診者のうちⅡ度及びⅢ度高血圧の者

令和5年度		令和6年度結果		
A 受診者	B Ⅱ度・Ⅲ度高血圧者	C 改善 (Ⅰ度高血圧以下)	D 悪化・変化なし (Ⅱ度・Ⅲ度高血圧)	E 未受診者 <small>※資格喪失者含む</small>
66,885人	4,925人 7.4% (B/A)	1,807人 36.7% (C/B)	1,339人 27.2% (D/B)	1,779人 36.1% (E/B)

令和5年度の特健診受診者のうち、Ⅱ度高血圧以上だった者の血圧の改善率は36.7%でした。

愛媛県健康課題は 高血圧!



○ビッグデータの分析から、愛媛県の健康課題は高血圧であることが分かっています。(愛媛県ビッグデータ活用地域・職域連携強化事業より)
○循環器病(脳卒中・心血管疾患)死亡の約50%が、120/80mmHgを超える血圧高値に起因するものと推定されています。(高血圧治療ガイドライン2019より)

血圧の正常値は120/80mmHg未満です

愛媛県民の みなさんへ!!

みなさんは自分の血圧を知っていますか?

そのためにはまず...

健康診断を受けましょう!



Q 健康診断を受けるにはどうしたらいいの?

A 企業等にお勤めの方は、勤務先の「健康診断」を受けることができます。
企業等にお勤めされていない方(個人事業主等を含む)のうち、40~74歳の方は、ご加入の医療保険の「特定健診」を受けることができます(市町国民健康保険に加入の方は、お住まいの市町にお問い合わせください)。

Q 通院中だけ健康診断は必要?

A 治療中以外の生活習慣病等が早期発見できます。「健康診断(特定健診)」を年1回受けることで、あなたが支払う将来の「医療費」を減らすことにつながります。
また、「健康診断(特定健診)」を受診された40~74歳の方のうち、リスクのある方は、ご加入の医療保険の「特定保健指導」を受けることができます。

高血圧の脳心血管病リスク層別化

	I度高血圧 140/90mmHg	II度高血圧 160/100mmHg	III度高血圧 180/110mmHg~
リスク第一層 予後影響因子がない	低リスク	中等リスク	高リスク
リスク第二層 年齢(65歳以上)、男性、脂質異常症、喫煙のいずれかがある	中等リスク	高リスク	高リスク
リスク第三層 脳心血管病既往、非弁膜症性心房細動、糖尿病、蛋白尿のあるCKDのいずれか、または、リスク第二層の危険因子が3つ以上ある	高リスク	高リスク	高リスク

高血圧治療ガイドライン2019 P50表3-2改変

高血圧をそのままにしておくと、脳卒中や心血管疾患の原因となります。
まずは自分の血圧を知ることから始めましょう。

